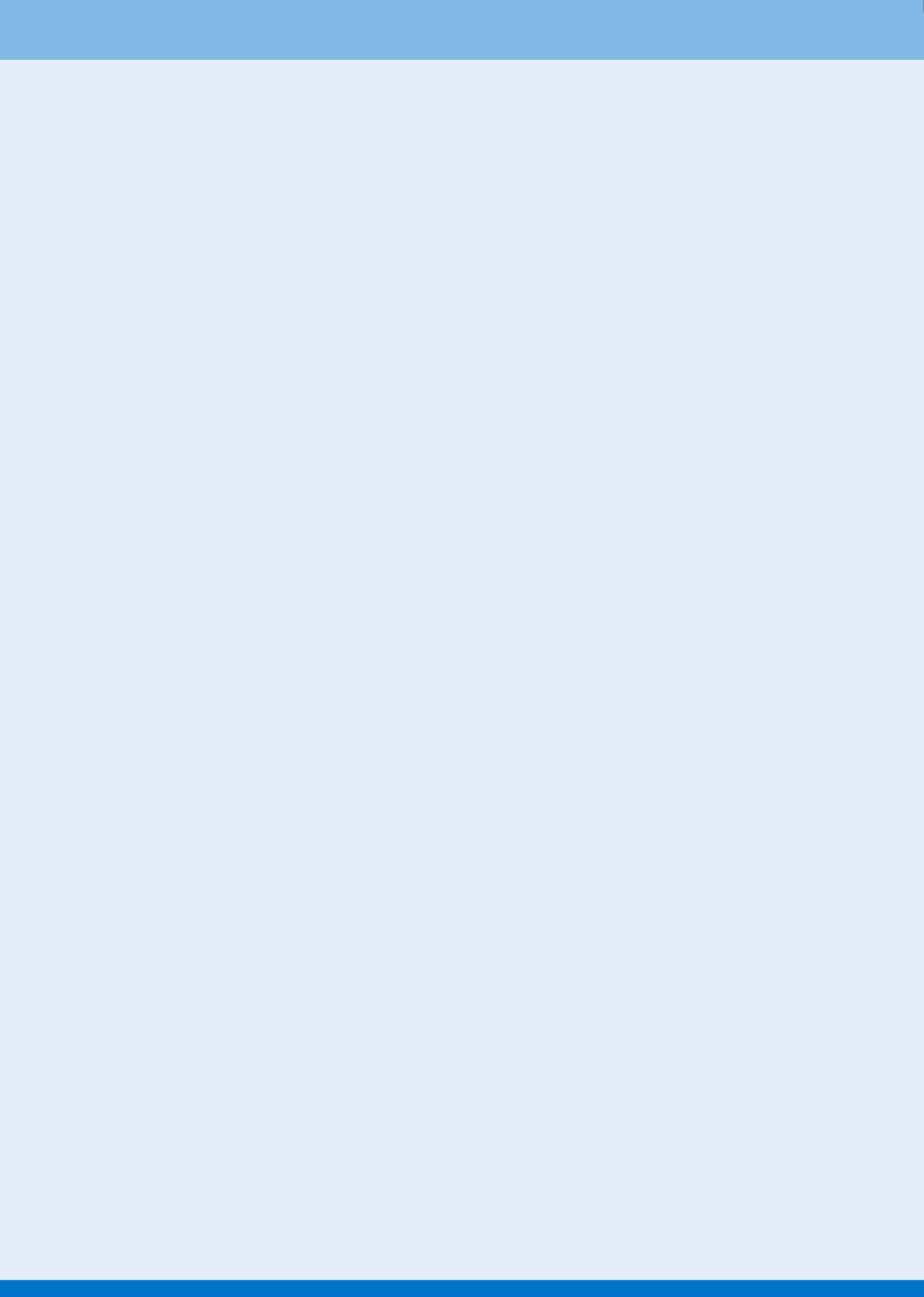




2 デザインの基本的な考え方





2-1 ネットワークの特徴

本県は、太平洋に臨む長い海岸線や広大な関東平野において一際その存在感を誇る霞ヶ浦と紫峰筑波山などの変化に富んだ美しい自然、さらには、鹿島神宮や偕楽園を始めとする幾多の歴史的遺産など数多くの優れた景観資源が引き継がれ、かつ育まれてきた。

この多様な地域特性を踏まえたモデルルートが設定され、「回遊性のあるサイクリング」をテーマに、誰もが多様にサイクリングを楽しむことができる、日本一のサイクリング環境の構築を目指している。

本ガイドラインの適用範囲としている3つのルートの特徴は以下のとおりである。

● 奥久慈里山ヒルクライムルート (L=200.9 km)

県内最高峰である八溝山の山頂や里山の風景を巡るチャレンジルート。

奥久慈の山々と久慈川が織りなす美しい景観を楽しめるルート。八溝山へ向かう本格的なヒルクライムや、里山の美しい農村風景のなか、四季を通じて色々な顔を見せてくれる袋田の滝や歩行者専用の橋としては日本一の長さを誇る竜神大吊橋など奥久慈ならではの個性的な地域資源が楽しめる県北・県央の山間サイクリングルート。【**上級者向け**】(八溝山に向かう八溝山公園線 7.6 kmは標高差約 630m；平均勾配約 8%)

溪流沿いの山間コース 大子那須線

日本三名瀑「袋田の滝」

雄大な渓谷にかかる竜神大吊橋

●大洗・ひたち海浜シーサイドルート (L=94.0 km)

美しく、変化に富んだ海岸線などを爽快に走り抜けるルート。

海食崖や岩礁など変化に富む風景が広がるルート。波しぶきの中に建つ神秘的な神磯の鳥居や、春のネモフィラの青い大地、丘一面に広がる秋の真っ赤なコキアが見事な国営ひたち海浜公園、日立おさかなセンター、アクアワールドやマリインタワーなど、海を見ながら観光施設を巡ることができるシーサイドルート。

【ビギナー・上級者向け】



美しい海岸沿いの快適コース 水戸那珂湊線



大洗磯前神社・神秘的な神磯の鳥居



真っ赤なコキアが広がる
国営ひたち海浜公園



●つくば霞ヶ浦りんりんルート

(L=288.9 kmうち、つくば霞ヶ浦りんりんロード 176.0 km)

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核とした多様な地域資源を巡るルート。

ナショナルサイクルルート認定コースである「つくば霞ヶ浦りんりんロード」とネットワークする水郷筑波地域を巡るサイクルルート。設備の整ったサイクル施設を持つ土浦を拠点に、筑波山のヒルクライムや水郷潮来、鹿島神宮や常陸風土記の丘などの文化的資産や歴史的町並みが残る真壁町、桜川市内の散走に加え、沿線の田園風景や地域資源が楽しめる県央・県南のサイクルルート。

【ビギナー・上級者向け】



つくば霞ヶ浦りんりんロード



筑波山と広大な田園地域



真壁の歴史的町並み



2-2 デザインコンセプト

デザインの背景にあるコンセプト及び視覚デザインのポイントを以下に示す。

○茨城県及び水郷筑波地域の特徴

- ◇八溝山や筑波山、霞ヶ浦、大洗海浜、袋田の滝を中心とした豊かな自然や美しい景観、鹿島神宮や常陸風土記の丘などの歴史的・文化的資産、偕楽園の梅、国営ひたち海浜公園のネモフィラ、桜川の桜、潮来のアヤメなどの数多くの地域資源を有する。
- ◇肥沃な大地に田園風景が広がり、特にメロン、レンコンは全国一の生産量などを誇るとともに、果樹園では、梨やイチゴなどの果物狩りも楽しむことができる。



○デザインの背景にあるコンセプト

- ◇肥沃な大地と筑波山、大きな湖、開けた空、おおらかでオープンな土地柄を表現し、コースに一貫したアイデンティティを付与する。
 - ・大地については、サイン盤面や路面標示のデザインに直接的に図案化されていないが、太平洋と空の広がり表現することで、開けた大地を連想させることも意識している。
 - ・サインそのものがランドスケープの一部となり、地域のアイデンティティとなることを目指している。(水郷筑波サイクリング環境整備ガイドライン)



○全県レベルでのデザインコンセプト

- ◇ナショナルサイクルルートの認定を受け、すでに地域のアイデンティティとなるデザインとなっている「つくば霞ヶ浦りんりんロード」のデザインを基本的に踏襲するものとする。

○視覚デザインのポイント

- ・色はブルーの面に明るいイエローの差し色を用いる。
- ・ブルーは太平洋と霞ヶ浦の水面と広く大きな空、イエローはそこに降り注ぐ光やサイクリングのエネルギーを表現している。
- ・ブルーは自転車の路面マーキングの基本色であり、いばらきの景観にマッチした配色で一貫性のあるアイデンティティを形成する。